



# アクテノン

NO. 81

名古屋市演劇練習館機関紙

## エッセイ

### ■ よれよれドン・キホーテの雄叫び?

舟木 淳 (役者・演出・名古屋放送芸能家協議会 理事長)



昨年、第12回AAF戯曲賞受賞作「豆」の公演に是非にと誘われ、久しぶりにアクテノンに通った。

10月中旬から12月初旬にかけて殆んど毎晩、土日は午後から夜まで。80才を迎えた私には、帰宅時間が毎日11時前後というのもかなり厳しかったが何とか乗り越えられた。

今回の公演の狙いのひとつは、出演者の20代から80代という幅広い世代間の交流と、それによる観客層の広がりだった—結果、思い通りにはいかなかったが、これは回を重ねるしか仕様が無いのだろう—

私としては、こういう芝居は65年の芝居生活ではじめてで、ずい分迷いもしたが、若い人々を外から見ているだけでなく、中に入って交わるいい機会だと思い切ってみた。

みんないい人たちで、まじめで、一所懸命で、この年寄りにも親切にしてくれて、結構たのしく、いい雰囲気芝居づくりだった。

だが、何か、もうひとつもの足りないものが残った。けい古も、内容についても、芝居づくりについても、お互いそれほどの話し合いもなく、まして議論もなく肅々と進んでいく、慣れない相手同士ということもあったのかも知れないが、何か言葉でなくても伝わってくる気迫のようなものもあまり感じられなかった。それは館内で行き交う他の若い人々たちからも同様だった。

けい古も終盤を迎えた12月6日、「秘密保護法」が強行採決された。しかし、けい古場では話題に

も上らなかった。

公演は無事打ち上げた—なかなかの出来だったと思う—が、充実感、達成感のようなものはワッとは伝わってこなかった。そういう芝居じゃないんだと言われればそれまでだが…。私自身も正直、「ウン、で、何なんだ?」というおもいを残して終った。

率直に言って私には今の若い人たちが分からない、彼らがどうにもならないほど追い込まれている現実をよく分かっているが。

どうして立ち向かおうとしないのだろう、先の見えないこの現実を作り出した者たちに対して、この不条理に対して。

このまま黙って、何もしないでいたら、戦前、戦中の軍閥政府による、戦後のGHQによる台本の検閲が再びはじまって、ほんとうにやりたい芝居が出来なくなるかも知れない。それどころか有無を言わせず戦争に狩り出されるかも知れない。

勿論方法はいくつもあるが、先ずレジスタンスの声をあげなければ(芸術はレジスタンスからはじまると言ったフランスの哲学者がいた)、そして私は大事な芝居で語りかける。

何んと血の気の多い、青くさいじじいだと笑われてもいい。私はハムレットよりドン・キホーテの方が好きだから。

今、テレビが名護市の稲嶺氏の当選を報じている。沖縄はもう立ち向かっている。



「花咲くチェリー」  
'85年 名演小劇場



シンラン  
「親鸞外傳」  
'05年 北文化小劇場

## トピックス

### ■ 来たれ“おじさん達”「アクテノン・シニア演劇部」に参加して

梅田 司朗 (普通のおじさん)



昨年8月のこと

後先のごことは考えず「アクテノン・シニア演劇部」に申し込みました。初日、集まったのは18人、うち16人が女性、男はなんと二人だけ。緊張感と心細さに震えながら週1回の講座がスタートしました。

9月には 公演の脚本が配られ配役も決まりました。

佃先生作・演出の「ほろほろと、海賊」という夢物語風現代劇。男子二人も立派な役をいただき「頑張ろう」と声を掛け合いました。実は私は高校時代に演劇を少しかじったことがあります。もう一人の男性は演劇経験はなく、もうすぐ古稀を迎えるという僕よりちょっとお兄さんでした。

10月11日 いよいよ本格的な役作りの時期です。

まずセリフ覚えに一苦労しました。そして更なる難関にぶち当たったのです。佃先生から「そのセリフはどういう気持ちで言ってるの?」と何度も待ったを掛けられたのです。ただセリフを早く覚えようとして字面を追っただけだったことがすっかり露呈して未熟さを実感しました。 もう一つ佃先生に教わった大切なことがあります。「セリフを相手に渡してください」と先生は仰るのです。私はつい好いカッコしようとお客様に向かって叫ぶようにセ

リフを言いたくなるのですが、厳しく「相手に渡すんだ」と教えていただきました。これ等は今回の講座で得た何にも代えがたい財産です。12月 通し稽古が始まりました。

みんなの顔が引き締まり、声の張りが一段と増してきました。先生の笑顔が殆ど見られなくなり稽古場に緊張感が漲ってきます。そして暮れも押し詰まった28日、遂に本番の幕が開きました。個人的には幾つかボカをやりましたがチームとしては素晴らしい出来映えだったと思います。予想もしなかったカーテンコールのアンコールを促す拍手が鳴りやまず思わず役者冥利を感じてしまったものです。そして今 強く感じることは

おじさん達には是非「シニア演劇ゴッコ」に参加して欲しいとの思いです。どこでもシニアは女性天下のようで、男性が少なくて困っておられるとか。今回図らずもペンを取らせていただきましたのも演劇とは無縁だったおじさん達に少しでもご理解を得たいとの思いからです。

名古屋にはシニアのための演劇講座が沢山あるそうです。

どうぞ貴方一步を踏み出してください。 っっっ 楽しいですよ っっっ



アクテノン・シニア演劇部発表会  
「ほろほろと、海賊」  
'13年12月28日(土)  
名古屋千種文化小劇場にて

# アクテノン・シャワー

## 『受賞おめでとうございます』

平成25年度、演劇・戯曲部門などで受賞された方を紹介します。

- ◇ 鶴屋南北戯曲賞  
北村 想 作品「グッド・バイ」
  - ◇ 名古屋市民芸術祭賞演劇部門  
劇団B級遊撃隊公演「満月ドリル」
  - ◇ 第19回劇作家協会新人戯曲賞  
刈馬 カオス 作品「クラッシュ・ワルツ」
  - ◇ 名古屋市芸術奨励賞  
安住 恭子 (演劇評論)  
池山 奈都子 (舞台演出)
  - ◇ 松原英治・若尾正也記念演劇賞  
いのご福代 (俳優)  
鹿目 由紀 (劇作・演出家)
  - ◇ 名古屋演劇ペンクラブ賞  
鹿目 由紀 (劇作・演出家)
- (※発表時期により掲載できなかった受賞者もありますのでご了承ください。)

## ■ 図書のご寄贈ありがとうございました。

次の方から多数の図書を資料コーナーにご寄贈いただきました。大切に活用させていただきますと思います。ありがとうございました。(敬称略)

- 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
- 公益社団法人 日本劇団協議会
- 小川 春雄、溝 久夫
- 宝珠山 隆博、岡部 紀子

## アクテノン利用団体紹介

- ①発足年 ②団員数 ③主な上演作品/会場(上演年) ④連絡先

### 演劇 劇団エーアンドエーダッシュ



劇団エーアンドエーダッシュは芸能学院A&Aアカデミーの卒業生を中心に2000年春に結成。舞台俳優は何でもできるという養成所の代表の思想を受け継ぎ、舞台が楽しい!舞台がやりたい!というメンバーが所属。劇団員の半数ほどが殺陣もこなす。ダッシュとしての公演はここ数年ありませんが、劇団員は他団体への客演を精力的にしています。代表が客演ばかりしていて劇団の公演が打てないという話も。殺陣とコメディを織り交ぜた楽しい芝居を目指しています。

- ①2000年 ②13名
- ③『12人の怒れる人達』/長円寺会館('01年) 『春夏冬(あきない)』/損保ジャパンひまわりホール('07年) 『おーい、俺』/長円寺会館('07年) 『銀座ストリート』/長円寺会館('10年)
- ④川瀬 邦成  
HP:<http://www.aanda-dash.com>  
E-mail:[mail@aanda-dash.com](mailto:mail@aanda-dash.com)

アクテノンに一言 主に殺陣の稽古で使わせていただいています。あと他団体の稽古もアクテノンが多いので、劇団員全員めっちゃお世話になってます。

### 演劇 虚構オメガ



2009年4月、主宰の長谷川公次郎により旗揚げ。当初はリーディング公演を主に行っていたが、現在は会話劇を軸とした演劇の創作に力を入れている。理不尽な会話を延々と繰り返してばかりいる。また、カフェや施設の一室を舞台に作り変えたり、視覚障害者の方でも楽しめる音だけの公演を行うなど、演劇という枠に固執せずに演劇活動を進めている。

- ①2009年 ②2名
- ③『世界システム』/サブリエ・ド・ヴェリエ('11年) 『独裁』/演劇練習館アクテノン('12年) 『無限遠点』/名古屋盲人情報文化センター('13年)
- ④長谷川 公次郎  
HP:<http://omegafiction.com/>

アクテノンに一言 いつも本当にお世話になっております。2012年にはリハーサル室で試演会をさせて頂いたりもしました。名古屋の演劇を陰で支えてくださる施設です。

## 公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。 ①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

<p><b>NAGOYA ダイヤモンド vol.6</b> 『いっぽんのキ』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 愛知県芸術劇場小ホール</li> <li>② 3月22日(土) 15:00 19:00、23日(日) 11:00 15:00</li> <li>③ 前売1,800円(当日2,000円) 大学・専門学校生1,400円 高校生以下800円</li> <li>④ ☎090-6091-3415(名古屋演劇教室) ☎0561-54-8984(名古屋演劇教室) 一本の木があった。今年のダイヤモンドは、そんな記憶が紡ぎ出す、いくつかの物語。</li> </ul>
<p><b>劇団サラダ 第22回公演</b> 『老女のとある物語』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア</li> <li>② 4月11日(金) 19:00、12日(土) 15:00 19:00、13日(日) 13:00 17:00</li> <li>③ 全席自由2,000円(公演協力費)</li> <li>④ ☎080-1611-3928 (玉腰) <a href="mailto:info_salad@yahoo.co.jp">info_salad@yahoo.co.jp</a> むかしむかし 生き物を創った神様が 生き物の寿命を何年にするか考えていました。</li> </ul>
<p><b>蒼天の猫標識 作・演 いば正人</b> 『さいきょうのそらび』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア</li> <li>② 4月18日(金) 19:00、19日(土) 14:00 18:00、20日(月) 14:00</li> <li>③ 前売1,000円(当日1,200円)</li> <li>④ <a href="mailto:soutenneko@gmail.com">soutenneko@gmail.com</a> この衣類の蔓延った世界で、何だってやれるさいきょうのそらびを探す旅に出るお話</li> </ul>
<p><b>劇薬★笑々症候群</b> 『第4激 永遠の詩(とわのうた)』</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 名古屋市青少年交流プラザ ユースクエア</li> <li>② 5月31日(土) 15:00 19:00、6月1日(日) 11:00 15:00</li> <li>③ 前売1,500円(当日1,800円) 学生1,000円 小中無料(要事前予約)</li> <li>④ <a href="mailto:gekiyaku_wara2syndrome@yahoo.co.jp">gekiyaku_wara2syndrome@yahoo.co.jp</a> (劇団) 大人になる為の矛盾と葛藤をテーマに、子供の成長を描いた、大人も子供も楽しめる物語</li> </ul>



編集発行/平成26年2月25日(年4回)  
 財団法人 名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]  
 〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47  
 TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632  
 ※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

